

2024年度 帝塚山学院大学大学院

# 入学試験要項

- ▶ 臨床心理学専攻(専門職学位課程)  
【一般入試・社会人入試】
- ▶ 人間科学専攻(修士課程)



TEZUKAYAMA  
GAKUIN  
UNIVERSITY

## 目 次

---

臨床心理学専攻(専門職学位課程)一般入試 .....	2
臨床心理学専攻(専門職学位課程)社会人入試 .....	4
人間科学専攻(修士課程)入試 .....	6
インターネット出願について .....	8
受験・試験会場・合格発表について .....	10
入学手続・学費等 .....	12
授業科目(臨床心理学専攻) .....	14
授業科目(人間科学専攻) .....	17

---

## 臨床心理学専攻(専門職学位課程)一般入試

### 募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
人間科学研究科	臨床心理学専攻(専門職学位課程)	I期募集 20名 II期募集 若干名

### 出願資格

下記(1)～(6)までのいずれかの要件に該当する者。

- (1) 大学を卒業した者、また2024年3月卒業見込みの者。
- (2) 独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者。
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2024年3月までに修了見込みの者。
- (4) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者。
- (5) 文部科学大臣の指定した者。
- (6) 本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳(2024年4月1日現在)に達した者。

### 入試日程

**注意事項** インターネット出願による出願登録は出願締切日の15:00まで、出願必要書類の提出は出願締切日の消印有効。

日程	出願期間	試験日	試験会場	合格発表日	入学手続締切日
I期	2023年 8月21日(月)～9月5日(火)	2023年 9月10日(日)	本学	2023年 9月15日(金)	2023年 10月20日(金)
II期	2024年 1月22日(月)～2月6日(火)	2024年 2月10日(土)	本学	2024年 2月16日(金)	2024年 3月8日(金)

\*定員充足状況により、II期入試を実施しない場合があります。

\*II期入試の実施の有無につきましては、11月上旬ごろに大学院入試のホームページにてお知らせします。

### 選抜方法

以下に基づき総合的に判定します。

- 筆記試験(外国語)
- 筆記試験(臨床心理学に関する専門知識)
- 面接試験
- 事前レポート(作成要領は出願必要書類の項を参照)

「心理臨床実践への自らの課題について」(800～1000字)

\*大学院教育を十分に遂行できる基礎学力、能力が認められない場合には、定員内であっても不合格とすることがあります。また、臨床心理士・公認心理師に必要なコミュニケーション能力も重視されます。

#### 入試科目・時間

時間	10:00～11:20	11:50～13:10	14:10～(15分程度)
入試科目	外国語 (英語)	臨床心理学に関する専門知識 (一部基礎心理学も含む)	面接

#### 配点

外国語科目	専門科目	合計
100点	200点	300点

\*外国語科目については、みなし得点制度があります。詳細はP.3をご確認ください。

\*外国語の筆記試験時、本学指定の辞書を貸し出します。

\*面接の順番は受験番号に則って決定します。

### 英語における外部試験のみなし得点利用について

英語外部試験の資格・スコアを下記の基準に従い、「外国語(英語)」筆記試験の得点として換算します。「みなし得点」を利用する場合、「外国語(英語)」筆記試験を免除し、「みなし得点」の得点を取得したものとします。「みなし得点」を利用した上で、「外国語(英語)」筆記試験を受験した場合は、得点の高い方を合否判定に使用します。

#### 対象英語資格・検定試験スコア

みなし得点	実用英語技能検定(英検)	TOEIC® L&R [IP不可]
90点	1級	900～
70点	準1級	730～895
60点	2級	550～725

[条件]

- ・出願開始日より遡って2年以内に受験していること。
- ・出願時に、合格証やスコアを証明する書類のコピーを出願期間内(出願締切日の消印有効)に必ず提出すること。再出願の場合も、再度提出してください。

### 出願方法 ※詳細は「インターネット出願」(P.8)をご確認ください。

インターネット出願登録を行い、入学検定料を納めた後、市販の角2封筒に出願必要書類を入れ、簡易書留速達郵便でお送りください。

### 出願必要書類

\*各種証明書は、原則、2023年4月以降に発行されたものに限りします。

①Web志願票(入学検定料支払後、インターネット出願サイトより、ダウンロードして印刷してください。)

●顔写真データについて

- ・出願前3ヶ月以内に撮影したもので、上半身、脱帽、正面向きのもの。
- ・背景は無地として、白、青、またはグレーの壁で撮影してください。
- ・画像データは100KB～3MBまでのjpeg形式で作成してください。
- ・個人が特定しづらいものは使用できません。

②卒業証明書又は卒業見込証明書(大学卒業以外の資格での志願者は、その資格を確認できる書類)

③成績証明書(出身大学等が作成し、厳封したもの)  
(大学卒業以外の資格での志願者は、その成績を確認できる書類)

④事前レポート(下記の内容についてご提出ください。)

「心理臨床実践への自らの課題について」(800～1,000字)

●レポートは以下の要領で作成すること

- ・用紙右上に氏名を記入の上、必ずページ数を下段右端に付し、用紙左上をホッチキスでとめること。

〈パソコンで作成する場合〉

用紙は縦長A4サイズ用紙に、黒で印字すること。

書式は横書き1行45字以内で作成すること。

〈手書きの場合〉

用紙は市販の400字詰め縦長原稿用紙(A4サイズ)に、黒のペンで横書きとする。

⑤戸籍抄本(改姓・改名者のみ)

証明書に記載されている氏名から改姓・改名した場合は提出してください。

### 入学検定料

30,000円

インターネット出願登録時に、コンビニエンスストア(現金支払)またはクレジットカード決済が選択できます。

### 病気・負傷・障がい等がある方の出願について

P.10をご確認ください。

# 臨床心理学専攻(専門職学位課程)社会人入試

## 募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
人間科学研究科	臨床心理学専攻(専門職学位課程)	I期募集 II期募集 } 若干名

## 出願資格

下記(1)～(2)までのいずれかの要件に該当する者。\*出願開始日1週間前までにアドミッションセンターまで必ずお問い合わせください。

- (1) 出願時までに4年制大学卒業後、社会福祉施設、医療機関、教育・研究機関、国および地方公共団体のいずれかにおいて3年以上の心理相談関連の就業経験を有する者。
- (2) 本学大学院において、上記(1)の出願資格に準ずるものとして認められた者。

## 入試日程

**注意事項** インターネット出願による出願登録は出願締切日の15:00まで、出願必要書類の提出は出願締切日の消印有効。

日程	出願期間	試験日	試験会場	合格発表日	入学手続締切日
I期	2023年 8月21日(月)～9月5日(火)	2023年 9月10日(日)	本学	2023年 9月15日(金)	2023年 10月20日(金)
II期	2024年 1月22日(月)～2月6日(火)	2024年 2月10日(土)	本学	2024年 2月16日(金)	2024年 3月8日(金)

\*定員充足状況により、II期入試を実施しない場合があります。

\*II期入試の実施の有無につきましては、11月上旬ごろに大学院入試のホームページにてお知らせします。

## 選抜方法

以下に基づき総合的に判定します。

ア. 筆記試験(臨床心理学に関する専門知識) \*外国語試験は免除されます。

イ. 面接試験

ウ. 事前レポート(作成要領は、出願必要書類の項を参照)

- 1.「これまでの職務内容と相談関連業務の経験について」(1,000字程度)
- 2.「本学専門職大学院志望の動機と将来の目標について」(1,000字程度)

\*大学院教育を十分に遂行できる基礎学力、能力が認められない場合には、定員内であっても不合格とすることがあります。  
また、臨床心理士・公認心理師に必要なコミュニケーション能力も重視されます。

### 入試科目・時間

時間	10:00～11:20(15分程度)	11:50～13:10
入試科目	面接	臨床心理学に関する専門知識 (一部基礎心理学も含む)

### 配点

専門科目
200点

\*面接の順番は受験番号に則って決定します。

## 出願方法

※詳細は「インターネット出願」(P. 8)をご確認ください。

インターネット出願登録を行い、入学検定料を納めた後、市販の角2封筒に出願必要書類を入れ、簡易書留速達郵便でお送りください。

## 出願必要書類

\*各種証明書は、原則、2023年4月以降に発行されたものに限りです。

①Web志願票(入学検定料支払後、インターネット出願サイトより、ダウンロードして印刷してください。)

●顔写真データについて

- ・出願前3ヶ月以内に撮影したもので、上半身、脱帽、正面向きのもの。
- ・背景は無地として、白、青、またはグレーの壁で撮影してください。
- ・画像データは100KB～3MBまでのjpeg形式で作成してください。
- ・個人が特定しづらいものは使用できません。

②卒業証明書又は卒業見込証明書(大学卒業以外の資格での志願者は、その資格を確認できる書類)

③成績証明書(出身大学等が作成し、厳封したもの)  
(大学卒業以外の資格での志願者は、その成績を確認できる書類)

④在職証明書(期間ごとに職種が記載されているものが望ましい)

⑤事前レポート(1、2の内容についてご提出ください。)

- 1.「これまでの職務内容と相談関連業務の経験について」(1,000字程度)
- 2.「本学専門職大学院志望の動機と将来の目標について」(1,000字程度)

●レポートは以下の要領で作成すること

・用紙右上に氏名を記入の上、必ずページ数を下段右端に付し、用紙左上をホッチキスでとめること。

〈パソコンで作成する場合〉

用紙は縦長A4サイズ用紙に、黒で印字すること。

書式は横書き1行45字以内で作成すること。

〈手書きの場合〉

用紙は市販の400字詰め縦長原稿用紙(A4サイズ)に、黒のペンで横書きとする。

⑥戸籍抄本(改姓・改名者のみ)

証明書に記載されている氏名から改姓・改名した場合は提出してください。

## 入学検定料

30,000円

インターネット出願登録時に、コンビニエンスストア(現金支払)またはクレジットカード決済が選択できます。

## 病気・負傷・障がい等がある場合の出願について

P.10をご確認ください。

# 人間科学専攻(修士課程)入試

## 募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
人間科学研究科	人間科学専攻	I期募集 10名 II期募集 若干名

\*この専攻の受験により入学した者は、大学院修了後に臨床心理士資格認定試験及び公認心理師試験の受験資格を取得することはできません。

\*2024年度入試は、情報・認知科学コースの募集はいたしません。

## 出願資格

下記(1)～(6)までのいずれかの要件に該当する者。

(1) 大学を卒業した者、または2024年3月卒業見込みの者。

(2) 独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者。

(3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2024年3月までに修了見込みの者。

(4) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者。

(5) 文部科学大臣の指定した者。

(6) 本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳(2024年4月1日現在)に達した者。

## 入試日程

**注意事項** インターネット出願による出願登録は出願締切日の15:00まで、出願必要書類の提出は出願締切日の消印有効。

日程	出願期間	試験日	試験会場	合格発表日	入学手続締切日
I期	2023年 8月21日(月)～9月5日(火)	2023年 9月10日(日)	本学	2023年 9月15日(金)	2023年 10月20日(金)
II期	2024年 1月22日(月)～2月6日(火)	2024年 2月10日(土)	本学	2024年 2月16日(金)	2024年 3月8日(金)

\*定員充足状況により、II期入試を実施しない場合があります。

\*II期入試の実施の有無につきましては、11月上旬ごろに大学院入試のホームページにてお知らせします。

## 選抜方法

以下に基づき総合的に判定します。

ア. 筆記試験(外国語)

イ. 筆記試験(専門に関する論述試験)

ウ. 面接試験

エ. 研究計画書(作成要領は、出願必要書類の項を参照)

### 入試科目・時間

時間	10:00～11:20	11:50～13:10	14:10～(15分程度)
入試科目	外国語 (英語)	専門に関する論述試験	面接

### 配点

外国語科目	専門科目	面接	合計
100点	100点	20点	220点

\*面接の順番は受験番号に則って決定します。詳細はP.3をご確認ください。

\*外国語の筆記試験時は、英和辞書の持ち込み・使用を認めます。ただし、電子辞書、専門用語辞典等を除きます。

## 出願方法 ※詳細は「インターネット出願」(P.8)をご確認ください。

インターネット出願登録を行い、入学検定料を納めた後、市販の角2封筒に出願必要書類を入れ、簡易書留速達郵便でお送りください。

## 出願必要書類

\*各種証明書は、原則、2023年4月以降に発行されたものに限りです。

① Web志願票(入学検定料支払後、インターネット出願サイトより、ダウンロードして印刷してください。)

●顔写真データについて

・出願前3ヶ月以内に撮影したもので、上半身、脱帽、正面向きのもの。

・背景は無地として、白、青、またはグレーの壁で撮影してください。

・画像データは100KB～3MBまでのjpeg形式で作成してください。

・個人が特定しづらいものは使用できません。

② 卒業証明書又は卒業見込証明書(大学卒業以外の資格での志願者は、その資格を確認できる書類)

③ 成績証明書(出身大学等が作成し、厳封したもの)

(大学卒業以外の資格での志願者は、その成績を確認できる書類)

④ 研究計画書

下記の1～3の内容を含んだものをA4用紙2枚、2,000字程度にまとめて作成してください。

1. 志望する研究テーマ

2. これまでの学習内容について

3. 関心のある研究領域について

●レポートは以下の要領で作成すること

・用紙右上に氏名を記入の上、必ずページ数を下段右端に付し、用紙左上をホッチキスでとめること。

〈パソコンで作成する場合〉

用紙は縦長A4サイズ用紙に、黒で印字すること。

書式は横書き1行45字以内で作成すること。

〈手書きの場合〉

用紙は市販の400字詰め縦長原稿用紙(A4サイズ)に、黒のペンで横書きとする。

⑤ 戸籍抄本(改姓・改名者のみ)

証明書に記載されている氏名から改姓・改名した場合は提出してください。

## 入学検定料

30,000円

インターネット出願登録時に、コンビニエンスストア(現金支払)またはクレジットカード決済が選択できます。

## 病気・負傷・障がい等がある場合の出願について

P.10をご確認ください。



# インターネット出願について

出願期間中は大学窓口でパソコンを使つての出願登録も可能です。

**【受付時間】10:00~16:00**

※土・日・祝および夏期・冬期休暇中は除きます。※事前連絡のうえお越しください。

## インターネット環境

出力する書類がありますので、プリンターをご用意ください。

PCブラウザ	【Windows】 Microsoft Edge(最新バージョン) Google Chrome(最新バージョン) Firefox(最新バージョン) 【Mac OS】 Safari(最新バージョン)	※セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。セキュリティソフトに関する設定方法については、セキュリティソフトのマニュアルを確認するか、各セキュリティソフトメーカーのサポートセンターに問い合わせてください。
スマートフォン・タブレット	【Android】 Android 11.0以上:Android Chrome(最新バージョン)    【iOS】 iOS 14.0以上:Safari(最新バージョン)	
PDF推奨環境	アドビシステムズ社のAdobe Reader(無償)が必要です。既にAdobe Readerをお持ちの方もバージョンを確認し、最新版にアップデートされることを推奨します。	

- メールアドレスについて ユーザー登録の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール(Gmail やYahoo! メールなど)や携帯電話のアドレスで構いませんが、携帯メールの場合はドメイン(@tezuka-gu.ac.jp, @postanet.jp)を受信指定してください。出願登録完了時・入学検定料支払い完了時に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。
- ブラウザについて どのウェブブラウザでも、右記の設定を行ってください。 ・JavaScriptを有効にする。 ・Cookieを有効にする。

## インターネット出願の流れ

STEP1~7を、すべて出願期間内に行うことによって、出願が完了したことになります。出願登録だけでは出願になりません。

### STEP 1 出願必要書類の準備

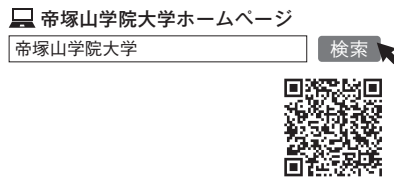
出願必要書類には発行までに時間がかかるものもありますので、早めにご準備ください。

成績証明書    卒業(見込)証明書    顔写真データ    etc.

出願必要書類は入試区分ごとに異なります。

### STEP 2 アカウント作成 (初回のみ)

- 帝塚山学院大学 受験生向けサイトにアクセス。
- 「インターネット出願」をクリックしてPost@netを開きます。
- Post@netのログイン画面より「新規登録」ボタンをクリック。
- 利用規約に同意した後、メールアドレス・パスワードを入力して「登録」ボタンをクリック。
- 入力したメールアドレス宛に、仮登録メールが届きます。
- 仮登録メールの受信から60分以内にメール本文のリンクをクリックして登録を完了させてください。



### STEP 3 ログイン

- メールアドレス・パスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックすると、登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力しログインしてください。
- 「学校一覧」から「帝塚山学院大学」を検索し、お気に入り学校の登録をしてください。

### STEP 4 出願登録

「出願登録」ボタンをクリック後、画面の指示に従って登録してください。



- 氏名や住所の漢字が入力できない、もしくはエラーになる場合は、代替漢字(なければカナ)を入力してください。印刷したWeb志願票に朱書きで正しい漢字を記入してください。
  - 出願した内容および、お支払い方法の画面を印刷しておくことをおすすめします。
  - 支払方法選択後、入学検定料のお支払いに必要な番号が表示されます。必ず番号をメモしてください。
- ※スマートフォン・タブレットで出願登録をした方は、スクリーンショット等で登録画面を保存しておくことをおすすめします。

- 注意**
- 入学検定料のお支払い完了後の変更は一切できません。
  - 入学検定料のお支払い前に誤りに気づいた場合は、入学検定料を納入せずに新たに登録を行ってください。
- ※支払期限までに入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報は自動的に無効となります。

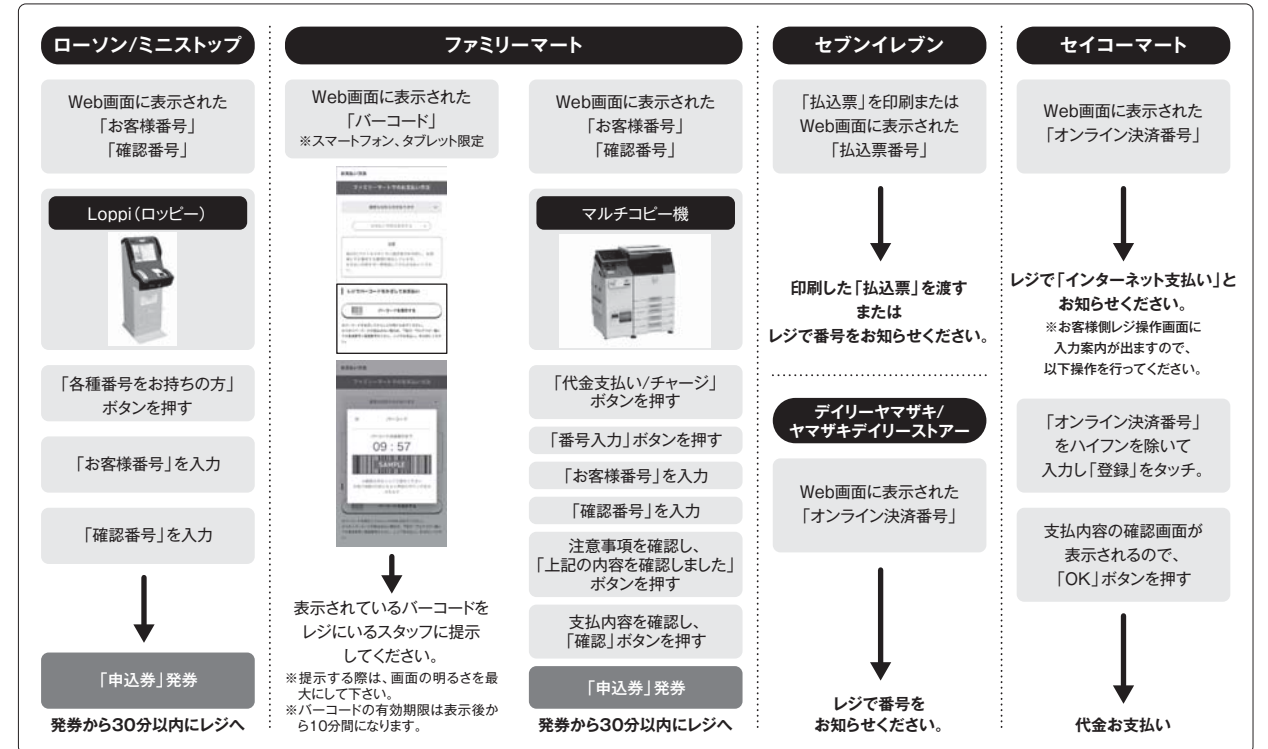
## STEP 5 入学検定料を支払う



コンビニエンスストア(現金支払)またはクレジットカード決済が選択できます。お支払い方法の詳細については、インターネット出願画面の「入学検定料の支払方法について」を参照してください。入学検定料の他に手数料が必要です。一度、お支払いされた入学検定料は返金できません。

**注意** 出願登録した翌日の23:59まで(出願締切日に登録した場合は当日の23:59まで)に入学検定料をお支払いください。支払い期限を過ぎると、登録された内容での入学検定料支払いができなくなります。また、入力された情報は自動的に無効となります。

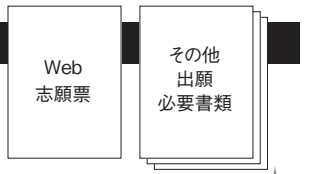
- ①コンビニ店頭端末の操作 ※下記操作手順は一部省略されています。実際の画面の案内に従って操作してください。
- ※下記操作手順が変更となる場合があります。操作方法については、Post@netにログインし、「はじめに」ページにてご確認ください。



- ②お支払い レジでお支払いください。(領収書等は個人控えですので、大切に保管してください[提出不要]。)
- ▶ 入学検定料の他に、払込手数料が必要です。 ▶ 一度お支払いされた入学検定料は、返金できません。
- ▶ お支払い金額が5万円以上の場合、別途事務手数料が必要です。 ▶ 支払期限までに入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報は自動的に無効となります。

## STEP 6 Web志願票・封筒貼付用宛名シートを印刷

Post@netへログインし「出願内容一覧」より帝塚山学院大学の「出願内容を確認」を選択し「Web志願票」、「封筒貼付用宛名シート」をダウンロードします。PDFファイルをページの拡大・縮小はせずにA4で印刷してください。※写真承認を待つ必要はありません



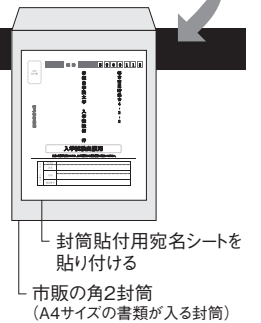
## STEP 7 出願必要書類の郵送(出願締切日消印有効)

印刷したWeb志願票などの出願必要書類を同封して、市販の角2封筒(A4サイズの書類が入る封筒)に入れ、簡易書留速達で郵便局窓口から郵送してください。

封筒貼付用宛名シートの出力ができない場合は、右記の宛先にお送りください。  
郵便番号・住所・氏名を記入して出願必要書類を右記の送付先に簡易書留・速達で郵送してください。

〒590-0113  
大阪府堺市南区晴美台4-2-2  
帝塚山学院大学 入学試験係  
入試出願書類在中

※書類の郵送が間に合わない場合は、持参してください。(要事前連絡) (受付時間)10:00~16:00(※土・日・祝および夏期・冬期休暇中は除きます。)



## STEP 8 受験票を印刷

試験日の2日前までに受験票ダウンロードの案内メールをお送りしますので、ダウンロード・印刷してください。受験票の郵送はしません。出願必要書類の提出がない方の受験票は無効となります。Post@netへログインし「出願内容一覧」より帝塚山学院大学の「出願内容を確認」を選択し「受験票ダウンロード」をクリックして、ダウンロードします。PDFファイルをページの拡大・縮小はせずにA4で印刷してください。試験当日に必ず受験票を持参してください。

**注意** 受験票のダウンロードが試験日の2日前になってもできない場合はご連絡ください。

## 受験・試験会場・合格発表について

### ■入学試験に関する注意

- ①受験票に記載の「試験に関する注意」を必ずご確認ください。
- ②入学試験当日、受験票は必ず持参し、試験中は試験監督の指示に従って提示してください。忘れたり、紛失した場合等は直ちに入試係員まで申し出たうえ、再発行手続を行ってください。
- ③入学試験当日は学内の掲示をよく見て試験会場等を確認のうえ、間違いのないようにしてください。
- ④試験開始15分前までに指定された席に着席してください。
- ⑤試験開始後は原則として退出できません。
- ⑥遅刻した場合は入試係員の指示に従ってください。ただし試験開始後30分以上遅刻した場合は原則として受験できません。
- ⑦筆記用具は必ず鉛筆を使用してください。(ボールペンやインク使用の筆記用具は使用できません。)
- ⑧時計は、時計機能だけの腕時計のみ認めます。(辞書機能、通信機能付、スマートウォッチ等は不可)  
※アラーム機能は必ず止めておいてください。
- ⑨携帯電話・スマートフォンは試験中、机に出すことはできません。アラーム設定を解除し、電源を切って鞆等に収納したうえで受験してください。(時計の代わりに使用することも禁止です。)

### ■受験票について

試験日2日前までに、受験票ダウンロードの案内メールをお送りしますので、ダウンロード・印刷してください。受験票の郵送はしません。試験当日に必ず受験票を持参してください。  
※受験票のダウンロードが試験日の2日前になってもできない場合はご連絡ください。

### ■病気・負傷・障がい等がある方の出願について

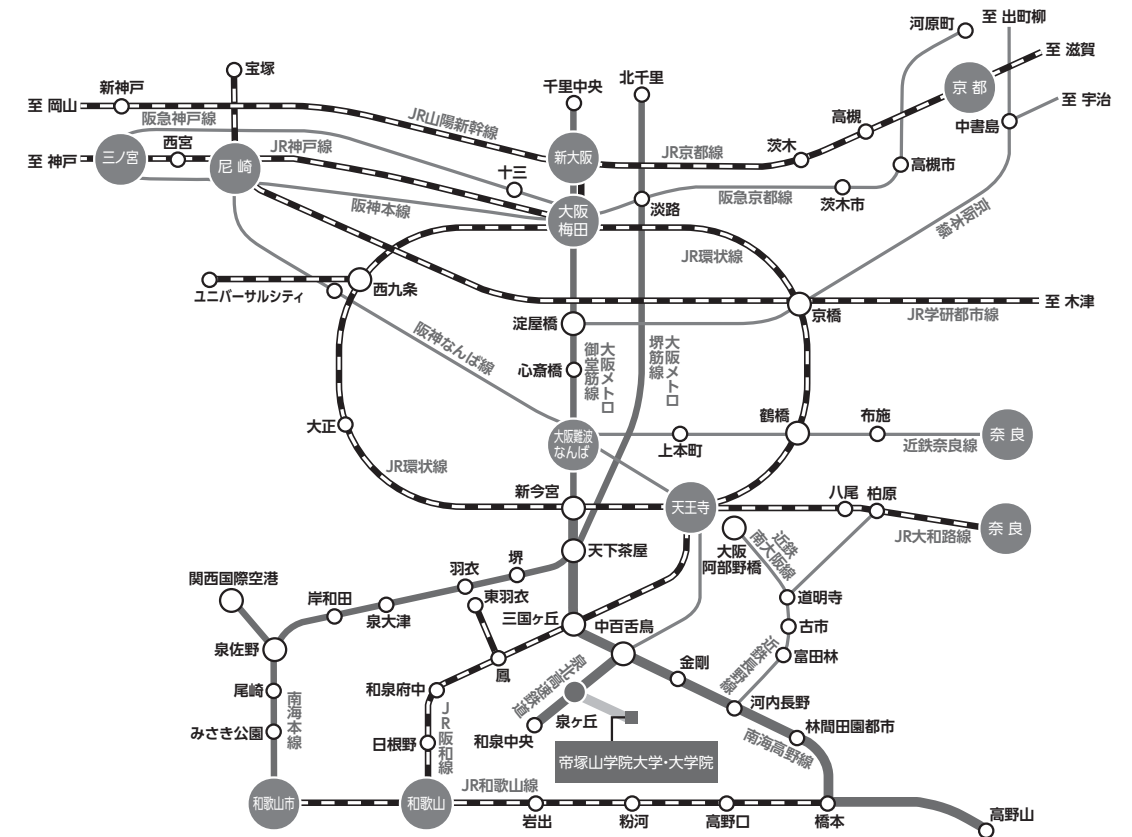
病気・負傷・障がい等があり、受験および修学に際して配慮を必要とする場合は、なるべく試験日の2か月前までにご相談ください。試験形態や希望する配慮内容によっては、希望どおりの配慮とならない場合もございます。また、希望する配慮事項や施設・設備の確認のため、本学にお越しいただく場合もあります。

### ■試験会場

帝塚山学院大学大学院  
〒590-0113 大阪府堺市南区晴美台4-2-2 TEL 072-290-0652

泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅より南海バスをご利用ください。  
南側ターミナル(改札口を出て右側)  
・南海バス4番・6番のりば(217・222系統)で約8分 「はるみ小学校前(帝塚山学院大学前)」下車すぐ

### ■路線図



### ■受験のための宿泊について

本学では宿泊施設の紹介・斡旋は原則的におこなっていません。近くの旅行会社などをご利用のうえ、大阪市内の「難波」駅周辺・南海高野線「堺東」駅周辺または泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅周辺でお選びになると便利です。

### ■合格発表について

合格発表日当日の午後1時に大学ホームページより合否を確認することができます。  
合格発表日以降に合格通知書等を順次発送します。不合格者には郵送での通知はありません。  
※合格の方には合格通知書と一緒に入学手続要項を発送しますので、所定の期日までに入学手続時納付金を振込み、書類を提出して手続を完了してください。  
5日経っても届かない場合は、お問い合わせください。  
※入学試験を欠席した場合や受験科目不足の場合、インターネットで該当の受験番号での合否照会を行うことはできません。

#### ●合否の確認方法

以下のURLまたはコードから本学ホームページにアクセスし、「合否結果」のバナーをクリックしてください。  
受験番号と誕生日(4桁)を入力してください。

<https://www.tezuka-gu.ac.jp/nyushi/>



#### 合否速報サービス利用上の注意

- ・当サービスの「誤操作」「見間違い」等を理由とした、入学手続の遅れは認められません。
- ・サービス開始直後はアクセスが多く、つながりにくい場合があります。その場合はしばらく経ってから再度操作をしてください。
- ・機材の性能や接続方法、ブラウザ設定などにより表示に時間がかかったり、文字化けが発生する場合があります。
- ・試験会場の外で合否発表に関する案内を本学教職員が行うことはありません。類似のサービスにはご注意ください。
- ・利用期間は各試験区分ごとに定めてあり、合格発表当日13:00～7日後の24:00までです。  
※期間外は見ることができません。

## 入学手続・学費等

### 入学手続

入学手続の詳細は合格通知に同封します。  
必ず期限内に手続を完了してください。期限までに手続を完了しないと入学資格を失います。  
(入学手続完了者には、入学手続締切日以降に「入学手続完了通知」をお送りいたします。)

※入学手続後、やむを得ず入学を辞退される場合は、2024年3月28日(木)17:00までにお申し出ください。  
なお、入学手続後、入学を辞退される場合は、できる限り早く本学にご連絡ください。

### 学費その他納付金(2023年度実施)

#### 【臨床心理学専攻】

	入学手続時 納付金	春学期納付金 (納付時期:5月末)	秋学期納付金 (納付時期:11月末)	初年度年間 納付金
入 学 金	200,000			200,000
授 業 料		380,000	380,000	760,000
教育充実費		90,000	90,000	180,000
実験実習費		80,000	80,000	160,000
総 額	200,000	550,000	550,000	1,300,000

◆入学後に納付いただくもの

・帝塚山学院大学 同窓会への同窓会終身会費…30,000円

※学費その他の費用については、経済事情の変動に応じて変更する場合があります。

※本学臨床心理学専攻(専門職学位課程)は、専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座となりました。

#### 【人間科学専攻】

	入学手続時 納付金	春学期納付金 (納付時期:5月末)	秋学期納付金 (納付時期:11月末)	初年度年間 納付金
入 学 金	200,000			200,000
授 業 料		280,000	280,000	560,000
教育充実費		60,000	60,000	120,000
実験実習費		20,000	20,000	40,000
総 額	200,000	360,000	360,000	920,000

◆入学後に納付いただくもの

・帝塚山学院大学 同窓会への同窓会終身会費…30,000円

※学費その他の費用については、経済事情の変動に応じて変更する場合があります。

### 長期履修生制度

本学では、職業等に從事しながら大学院で学ぶことを希望する社会人の方々の学習機会を拡大するため「長期履修生制度」を設けています。この制度は、職業を有している等の事情で、1年間で履修可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限され、通常の修業年限(2年間)で修了することが困難な方のための制度です。本人の申請に基づいて審査し、標準履修年限を超えての長期履修をあらかじめ認めることで、学生は計画的に課程を修了することが可能となり、各自の事情に合わせたペースで学位の取得を目指すことが可能になります。

### 奨学金およびスカラシップ制度

- (1) 日本学生支援機構(貸与)
- (2) 小野奨学会奨学金(給付)
- (3) 帝塚山学院大学奨学金(給付)・本学の学生のみを対象とした大学大学院独自の奨学金制度です。就学の熱意があり、学業成績が良好な学生に対し給付します。
- (4) 特待生制度・臨床心理士、公認心理師の資格取得を目指していること。入試当日の成績などその他条件を満たしている方に、授業料のうち、初年度のみ半額相当分を免除します。
- (5) ドミトリスカラシップ制度・大阪府以外の遠隔地から本学指定宿舎に居住する学生に年額10万円を援助する制度です。
- (6) TA(ティーチング・アシスタント)制度・大学人間科学部の教育・研究に関連する補助的業務に参加した大学院生に報酬等を支給し、支援する方策を積極的に取り入れています。
- (7) 学外スーパーヴィジョンプログラム制度・学外の専門家から指導を受ける際に支払う指導料を一定額まで補助する制度です。

### 臨床心理学専攻の資格取得

#### 臨床心理士受験資格

公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の「臨床心理士資格審査規程」に「学校教育法に基づく大学院において、臨床心理学又はそれに準ずる心理臨床に関する分野を専攻する専門職学位課程を修了した者」と規定されており、本学大学院人間科学研究科臨床心理学専攻(専門職学位課程)は、「臨床心理士」資格試験の資格審査を受けることができる課程です。したがって、本専攻修了者は、臨床心理士資格認定試験の受験資格が取得できます。

#### 国家資格 公認心理師試験受験資格

公認心理師は、心理援助に関わる国家資格です。公認心理師資格を取得するためには、一般財団法人日本心理研修センターが実施するマーク試験方式による公認心理師試験に合格する必要があります。履修規定に定められた科目を修得した本専攻修了者は、公認心理師試験受験資格が取得できます。(大学院入学前に4年制大学において法令で定める科目を修得している必要があります。)



## 授業科目（臨床心理学専攻）

### 臨床心理学専攻（専門職学位課程）

	授業科目名	配当年次	講義等の内容
臨床心理学 基幹科目	臨床心理学原論演習Ⅰ	1	心理臨床家を志す者にとって基礎的素養として必須となる、理論・知識・態度について学ぶ。臨床心理学成立の歴史的背景、臨床心理学の独自性、心理査定、心理面接における面接構造論、病態水準論、事例研究の意義と問題点、心理療法の諸理論・諸技法など。
	臨床心理学原論演習Ⅱ	1	人間のさまざまな状態像について、心理療法過程をもとに、全体的存在としての人間に生じる心理化・身体化・行動化・象徴化の観点から、臨床的・理論的に学ぶ。さらに、その状態像について学生が選んだ学術雑誌掲載論文等の事例を使い検討し、理解を深める。
	臨床心理査定学演習Ⅰ (心理的アセスメントに関する理論と実践)	1	本演習では、心理査定技法のうち、特にロールシャッハ・テストと描画法(バウムテスト、風景構成法を中心とする)を重点的に取り上げ、その実践と理論の両面について学ぶ。また、質問紙性格検査をはじめ、臨床場面でよく用いられる技法についても取り上げる。一技法の理解にとどまらず、関係性をとおして全人的に人間を理解しようとするという、臨床心理士・公認心理師としての基本的な態度や観点を、体験的に習得することをねらいとしている。
	臨床心理査定学演習Ⅱ	1	本演習では、心理臨床の現場において実際に使用されることの多い各種査定技法(心理テスト)について実践的・体験的に学ぶ。課題として数種類の査定技法を組み合わせたテスト・バッテリーを施行し、発表形式で各人の所見のプレゼンテーションを行い、グループディスカッションを通じて細部のリファインを図る。最終的に完成形となったテスト・バッテリー所見レポートを学年末に提出することが義務付けられる。
	臨床心理査定学実習Ⅰ (心理実践実習)	1	医療・教育・福祉・司法各分野での心理査定に主として使われる、新版k式発達検査・ウェックスラー検査・ロールシャッハ検査などを実習し、各臨床機関の特殊性を踏まえ、現場に役立つ検査所見の作成について学ぶ。
	臨床心理査定学実習Ⅱ (心理実践実習)	2	臨床心理査定学実習Ⅰでの体験を踏まえ、検査で得られた多くの情報を、クライアント理解を深めるために使う査定力をつける。更に、検査のみならず面接や行動観察から、クライアントの情緒特性や認知特性、そして、家族や社会場面における関係性を見立て、他専門機関との連携にも役立つ査定力を高めることを目指す。
	臨床心理面接学演習Ⅰ	1	大学院附属心理教育相談センターにおける臨床心理面接の準備としての演習授業である。学生が来談者および面接者役となり初回面接を試行的に体験すること、それを録音し逐語録を作成すること、さらにそれを全員で討論することで、臨床心理面接の初回面接者としての基本的知識と態度を身につけることを目的とする。
	臨床心理面接学演習Ⅱ	1	臨床心理面接学演習Ⅰで習得した臨床心理面接の初回面接者としての基本的態度を踏まえ、さらに、専門知識が必要な相談内容に対して必要な初回面接者としての基本的知識と態度を身につけることを目的とする。方法としては臨床心理面接学演習Ⅰと同様である。
	臨床心理面接学実習Ⅰ	1	臨床心理士や公認心理師が臨床心理実践を行う機関として必要な基本的知識や技術について体験的に学ぶ。具体的には大学院附属心理教育相談センターにおける、電話受付や来談者への応対姿勢、相談受理に関する手順、並びにインテイク面接陪席に関する基本姿勢やインテイク報告書作成などを、センター実習において体験的に学ぶ。
	臨床心理面接学実習Ⅱ (心理実践実習)	2	本学心理教育相談センターで担当する事例を通じて、臨床心理面接学演習Ⅰ・Ⅱや臨床心理面接学実習Ⅰで学んだ基本的態度や基本的技能を体験的に習得することを目的とする。また、心理臨床スーパービジョン等を積極的に取り入れ、担当事例についての理解を深めたり、事例に即した援助のあり方を学んだりするとともに、各自の臨床心理士としての課題や問題点を整理する。
臨床心理学 展開科目	臨床心理地域援助学演習Ⅰ	1	臨床心理士には、場所や時間など狭義に構造化されている個別の臨床心理的援助のみならず、子育て支援や学校臨床など、他職種と連携し、コンサルテーションを含めた臨床実践をすることが少なくない。こうした臨床の場で他職種と円滑な連携を行うためには自ら治療構造を意識し、構造を作る力が必要になる。臨床例を紹介しながらディスカッションを重ね、この視点について学ぶ。
	臨床心理地域援助学演習Ⅱ	1	臨床心理地域援助学演習Ⅰで習得したことを踏まえ、教育・福祉・医療保健・地域援助など各専門領域で、臨床心理士として他専門職との良好な連携を行うために必要な臨床の知恵について考察を深める。更に、実習領域や機関の特殊性について学び、各領域に役立つ臨床心理士についての検討を重ねる。
	臨床心理地域援助学実習Ⅰ (心理実践実習)	1	学校／教育センター・福祉施設・児童心理治療施設・少年院の実践／見学を通して、教育・福祉・司法分野における臨床心理士・公認心理師として必要な基本的知識と技術の習得、および多職種／地域連携の在り方を学ぶ。
	臨床心理地域援助学実習Ⅱ (心理実践実習)	1	精神病院・精神科外来クリニック・小児心身症専門外来クリニック・保健センターにおける実践／見学実習を通して、医療／保健分野における臨床心理士・公認心理師として必要な基本的知識と技術の習得、および多職種・地域連携の在り方を学ぶ。

### 臨床心理学専攻（専門職学位課程）

	授業科目名	配当年次	講義等の内容
臨床心理学 展開科目	臨床心理地域援助学実習Ⅲ (心理実践実習)	2	臨床心理地域援助学実習Ⅰ／Ⅱで習得した知識や技術を基に、教育機関(小学校・中学校・高等学校・病弱児支援学校・教育センター)、福祉機関(保育園・行政福祉・福祉施設)いずれかの機関における実践実習を通して、教育・福祉分野における臨床心理士・公認心理師として必要なより専門的知識と技術の習得、および多職種／地域連携の在り方を学ぶ。
	臨床心理地域援助学実習Ⅳ (心理実践実習)	2	臨床心理地域援助学実習Ⅰ／Ⅱで習得した知識や技術を基に、医療機関(小児心身症／児童精神科、精神科、内科、心療内科)、保健・産業分野いずれかの機関における実践実習を通して、医療／保健・産業分野における臨床心理士・公認心理師として必要なより専門的知識と技術の習得、および多職種／地域連携の在り方を学ぶ。
	臨床心理事例研究演習Ⅰ	1	事例研究論文執筆を目的として、事例のまとめ方、事例研究のあり方、臨床心理学領域における論文の書き方等について学ぶ。各学生のケース理解や臨床心理援助のあり方に関する検討等を踏まえて、事例報告資料や事例研究論文作成に関する指導を少人数グループで行う。
	臨床心理事例研究演習Ⅱ	2	本学心理教育相談センターで担当しているケースの臨床心理学的理解や臨床心理援助のあり方についての振り返りや検討、それらに対する指導等を踏まえて、事例研究論文を執筆する。個人または少人数での心理臨床スーパービジョン等を通じて、各自が担当ケースの理解を十分に深め、自らの心理援助のあり方についてインテンシブな検討を行う。最終的にその成果を事例研究論文として結実させる。
	総合的事例研究演習Ⅰ	1	各学生が本学心理教育相談センターで陪席あるいは担当したケースについて発表し、討議する。インテークカンファレンス、事例検討会等を通じて、インテーク報告・事例発表の仕方、事例の見立て方、事例理解、援助方針の立て方等を学び、各自の心理臨床実践上の課題の確認や、カウンセリングの実践的能力の向上を目指す。
	総合的事例研究演習Ⅱ	2	各学生が本学心理教育相談センターで担当したケースについて発表し、討議する。インテークカンファレンス、事例検討会等を通じて、より専門性の高い事例理解や介入援助のあり方等についての知見を深め、カウンセリング実践能力のさらなる向上を目指す。各自の心理臨床実践上の課題の修正や改善についても意識して取り組む。
	臨床心理関連行政論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	1	医療・保健、教育、福祉、産業、司法分野の諸機関における臨床心理士、公認心理師として必要な法律・倫理・行政的事項を、文献や訪問等により具体的に検討し、法的根拠を踏まえた臨床心理業務の専門的役割を考える。
	認知心理学特論	1・2	本講義では、認知心理学および認知科学に関する学問体系を解説する。その上で、認知心理学や認知科学の研究手法やこれまでの知見の活用方法、特に日常生活における実践的な活用方法について重点的に学ぶ。認知心理学および認知科学の最新動向を踏まえて、日常生活における人間の行動原理を理解できるようになる。
	社会心理学特論	1・2	社会心理学は、自己や態度といった個人の内的な過程、友人関係や恋愛関係といった対人関係、さらには会社組織などの集団、大衆という社会を幅広く研究の対象としている。本講義では、個人・対人関係・集団[組織・社会]というさまざまな単位を取り上げ、幅広く社会に生きる人間の置く同心理を考える。自分とは何か、相手に自分の気持ちなどをどのように伝えることができるか、集団のなかで自分をどのように表現できるか、流行とは何か、文化を理解するにはどのような方法があるかといったテーマを取り上げながら、最新の研究から人間の社会的行動を理解してゆく。
	人格心理学特論	1・2	パーソナリティあるいは行動の理解・アセスメント、さらに心理療法をはじめとする心理援助的介入に関わる現象理解のあり方、考え方を学んでもらうことを目的としている。授業概要としては、Ⅰ．行動理解のパラダイム、Ⅱ．心理学、精神病理学におけるシステム論パラダイム、Ⅲ．関係モデルと心理的援助の3つのサブテーマのもとに、パーソナリティや行動の理解、心理的援助活動に関わる幾つかの基本的な見方、考え方について、文献の講読、事例紹介も含めながら、説明する。
心理統計法特論	1・2	統計手法の紹介と解説を講義し、統計解析ソフトウェア(SPSS)を使用したデータ解析を演習する。	
臨床精神医学 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)	1・2	心理臨床においては、クライアントについて客観的に評価するための手掛かりとして、精神医学の知識が欠かせない。本科目「臨床精神医学」では、臨床心理士・公認心理師として、精神科医との分業および共同作業が適切にできるようになることを目標として、現代精神医学における各疾患・障害概念を、心理臨床との関係に重点を置きながら講述する。	
生涯発達学特論	1・2	ライフ・サイクル論的な展望をもとに、乳児期から老年期にいたるまでのそれぞれの時期に特徴的な心理的課題と臨床的問題について検討する。認知的発達と情緒的発達の両面にわたって、現代の発達心理学の基本的な文献に触れ、現代的な問題を理論的に整理する一方、臨床場面で遭遇する問題を想定しつつ、ディスカッションも行う。認知発達については定型発達だけでなく、発達障害を中心とした近年の研究を取り上げる。情緒発達については、精神分析の潮流・アタッチメント理論等を中心に取り上げる。また、老年期の問題についても考察を行う。	



臨床心理学専攻（専門職学位課程）

	授業科目名	配当年次	講義等の内容
選 択 科 目 （ 特 修 科 目 を 含 む ）	学校臨床心理学特論 （教育分野に関する 理論と支援の展開）	1・2	児童生徒の抱える心理行動的諸問題への臨床心理学的理解と支援方法について、教育 分野に関わる臨床心理士、公認心理師の実践、及びスクールカウンセラーの活動を通し て学習していく。
	犯罪心理臨床論	1・2	司法・犯罪（非行）分野に関する理論や支援の在り方、現代日本における犯罪・非行の現状 や犯罪・非行に対処するための社会的制度、犯罪被害者の精神的被害等について講義形 式を中心にして授業を進める。グループディスカッションやロールプレイングを活用し、ま た、適宜事例検討を行いながら授業を行う。
	心身医学 （保健医療分野に関する 理論と支援の展開）	1・2	心理社会的要因が関与した身体症状であるいわゆる心身症や、悪性腫瘍など致死的疾患 を扱うサイコオンコロジーや緩和ケアについての基本的理論を学ぶ。更に病院実習を通 して本領域における治療チームの実際を知り、チームにおける臨床心理士・公認心理師 の役割について検討を重ねる。
	家族療法特論 （家族関係・集団・地域社会に おける心理支援に関する 理論と実践）	1・2	講義や事例提示、グループワーク、ビデオ教材視聴等を通じて、家族療法の基本的な考え 方と実際について学ぶ。家族システム論、構造派家族療法、多世代派家族療法、コミュニ ケーション派家族療法、解決志向短期療法、ミラノ派家族療法、ナラティブアプローチ、統 合的アプローチ等の家族療法関連領域の考え方や技法に親しみ、臨床実践に応用できる ようになることを目標とする。
	臨床実践事例特修科目Ⅰ	1・2	ユング心理学を基盤として深層心理学的な臨床実践を学ぶ。具体的には①フロイトとユ ングを中心としたテキストリーディング、②インテークから終結までのさまざまな臨床実 践の深層心理学的解説、③プレイフルなロールプレイを通じた臨床感覚の体験、この三 つを柱にしたワークショップ的な授業を展開する。
	臨床実践事例特修科目Ⅱ	1・2	心理療法の個性的統合についての知的理解と、絵の登場人物とのミニ・カウンセリングや 紙粘土と箱庭アイテムを用いた内界表現などを通じた体験学習、さらには事例研究も交 えて、心理臨床の深みと高みに迫る。
	臨床実践技能特修科目Ⅰ	1・2	精神分析的心理療法の実践について、事例研究論文やビデオなどを素材とし、各事例で 生起している事象を考察する。事例研究論文を読んだり、ビデオを鑑賞したりした後、設 定された課題についてグループ・ディスカッションを行い、各グループの代表者が集約した 意見を発表し、最後は全体でのディスカッションを行いながら授業担当者が解説を行う。
	臨床実践技能特修科目Ⅱ	1・2	この授業では、イメージを用いた心理療法の進め方、セラピストとしての態度、事例のプ ロセスの見方などを習得することを目標とする。具体的には、箱庭療法、描画療法、遊戯 療法などを用いた実際の事例を素材とし、ディスカッションをしながら、事例のセッション 1回ごとに詳細に検討していく。イメージは多義的で複数の解釈が可能だが、それらの象 徴的な意味や、治療関係などについて、受講者の意見も尊重しながら考えていく。
	発達障害特論 （福祉分野に関する 理論と支援の展開）	1・2	自閉症スペクトラム障害・注意欠陥多動性障害・学習障害などの各論について学び、医療 ／教育／福祉の各領域での実習経験を基にディスカッションを行う。これらを通して発達 障害に対して臨床心理士・公認心理師ができる支援についての理解を深める。
	認知行動療法特論 （心理支援に関する 理論と実践）	1・2	認知行動療法の基本的な考え方を学び、強迫性障害（OCD）への行動療法と発達障害へ の応用行動分析学（ABA）に基づいた教育的支援を中心とした、具体的な治療アプロ ーチを学ぶ。
	産業心理学特論 （産業・労働分野に関する 理論と支援の展開）	1・2	産業・労働分野で活躍する心理臨床家は、カウンセリングルームにおける心理学的知識や 実践力のみならず、職場という変化が激しい生活環境や時間的処理、複雑な対人関係、家 庭の運営を含めた将来設計のあり方、心身の健康維持・増進、そして人生の価値などさま ざまな事柄についての理解を深める。
	健康心理学特論 （心の健康教育に関する 理論と実践）	1・2	私たちが追い求める健康とは何なのか、どのような国策が示されているのか、生活習慣病 に見られるような現代病を作る要因は何か、そして根本原因ともいえるストレスの予防は どのようにするのかということについて細かく学ぶ。

授業科目（人間科学専攻）

人間科学専攻（修士課程） 健康科学コース／情報・認知科学コース

	授業科目名	配当年次	講義等の内容
基 礎 科 目	人間科学概論B	1	「人間とは何か」「人間と人間の関係はいかにあるべきか」そして「人間にとって真に大切な 文化とは何か」といった問いに対して、生物としてのヒトの原点になった脳科学と行動学、心 の動きを明らかにする心理学や健康で安全な生活を維持するための健康科学やグローバル な文化のあり方を探求する文化学の視点から多角的かつ専門的に研究するための基本とな る知識や取り組み方について概説する。
	人間科学概論C	1	本講義では、人間科学に関わる学際的な知識体系を解説する。その上で、人間科学の研究 方法やこれまでの知見の活用方法、特に脳科学や心理学の領域について重点的に学ぶ。 人間の歴史や文化的な視点も踏まえて、人間に関する科学的な知見について広く深く学ぶ ことで、人間の本質的な行動原理を理解できるようになる。
専 門 科 目 （ 健 康 科 学 領 域 ）	食品科学特論	1・2	人だけでなく動物と植物も、生きていくために食物が必要で、そこには栄養素含まれている。 それにより、人では、健康の維持・増進から、疾病の予防や治療にいたるまで、重要な役割を はたしている。さらに、食物あるいは食品は、地球環境とも大きく関わっている。そのような 観点から、地球上における食物連鎖も合わせて理解し、食物の生産から消費までの過程で 生ずる課題を取り上げ、人が摂取する食べ物の本質を科学として捉えるものである。
	応用栄養学特論	1・2	近年の食生活については、「食」を大切にす心の欠如、栄養バランスの偏った食事や不規則 な食事の増加、肥満や生活習慣病等の増加、過度の痩身志向、「食」の安全上の問題の発 生、「食」の海外への依存、伝統ある食文化の喪失等、様々な問題点があげられる。妊娠期 から高齢期までの各ライフステージでの発育・発達及び健康維持・増進における食生活や食 行動との関連を研究する。さらに、これらの諸問題、および今後の課題に至るまで展開し、理 解を深める。また、おいしさと健康の関わりについても追求める。
	公衆栄養学特論	1・2	日本人の食事摂取基準2015年版は、栄養のガイドラインである。食事摂取基準に記載さ れている栄養の指標を理解するとともに、食事摂取基準作成の背景にある科学的根拠に基 づく栄養学（EBN：evidence-based nutrition）、栄養疫学の考え方を習得する。
	栄養生化学特論	1・2	栄養素の代謝には多くの酵素が関係し、その調節機構は複雑である。これらの酵素は糖質、 脂肪、タンパク質の三大栄養素の摂取や絶食、またインスリンなどのホルモンによっても 様々な調節を受ける。まず、これらの酵素の機能と代謝の経路について解説したのち、酵 素の質的変化や量的変化の調節機能について解説する。また、動物細胞におけるDNAか らmRNAへの転写、mRNAからタンパク質への翻訳のメカニズムについて講義を行い、 ホルモンや栄養素がどのように遺伝子発現を制御しているか理解する。
	食品保健・機能学特論	1・2	基礎栄養学、栄養生化学の知識を基盤として、食品の第3次機能である生体調節機能（抗酸 化機能、消化吸収促進ないし阻害機能、微生物活性機能、脂質代謝関連機能、酵素活性化 機能等）について順次解説する。次いで、生活習慣病やメタボリックシンドロームと密接に関 連する動脈硬化について、脂質代謝や糖質代謝の動態から理解を深める。そして、天然物・ 食品・栄養ならびにそれら成分の生体調節機能の観点から、生活習慣病予防に向けた新規 な食品機能性やメタボリックシンドローム予防・改善を視野に入れた新規食品素材およびそ れらの安全性について討議し、研究に取り組む。
	給食経営管理学特論	1・2	特定給食施設、特に医療あるいは医療関連施設における、栄養評価・判定に基づく栄養・食 事管理のマネジメントを行う能力の養成と、医療経済学の一分野としての栄養・給食経済学 を考え、討議し、研究をすすめる。
	臨床栄養学特論	1・2	様々な疾病の原因、症状、臨床検査所見、診断と治療について概説する。そして、個々の疾 病の成因、進展、治療と栄養学との関わりに関して理解を深め、適切な栄養管理（栄養マネ ジメント）を行うことが出来る能力を身につける。さらには、糖尿病、高血圧症、脂質異常症 といった生活習慣病をはじめとする各種疾病の病態検査法、食事療法、運動療法、薬物療法 について学び、検討する。
	栄養教育特論	1・2	行動変容を支援できる先進的栄養教育プログラム立案、実施、評価、フィードバック、および わが国および諸外国の栄養教育政策・国際的動向に関連する分野の書籍・文献などの講読、 発表、討論を通じて、栄養教育分野の研究に対するアプローチ方法・考え方について理解し、 研究課題に発展させることを目的として講義を行う。
	食生活経済学特論	1・2	家計消費に占める食料消費の低下が指摘されて久しい。こうした現象は、生活全体における 食料消費の地位の低下のように言われる場合が多いが、果たしてそうなのか。食生活経済 学特論では、家族共同の食料消費と家族個々人の食料消費の2つの場面から食料消費を捉 えることによって、食料消費に関する通説について議論すると共に、生活様式が大きく変動 している現況下の食料消費の動向について検討する。
	健康運動学特論	1・2	近代スポーツのジェンダー構造を読み解く。ジェンダーフリーなスポーツ文化の構築にあ たり、歴史、文化、身体、教育、ムーブメント、可能性から執筆された諸論考を読み、討議し、 研究をすすめる。

人間科学専攻（修士課程） 健康科学コース／情報・認知科学コース

	授業科目名	配当年次	講義等の内容
専門科目 健康科学領域	病態医学特論	1・2	幅広い領域の疾患個々における治療法について、その歴史の変遷を踏まえて最先端の治療法について詳説するとともに、典型的な具体的な症例を提示し症例検討会形式での講義を行う。その中で、各疾患の病態に応じた栄養管理の具体的な方法を学び、実地の臨床に応用する実践力も養う。具体的な疾患の分野としては、代謝栄養学、内分泌学、整形外科学、産婦人科学、神経学、血液学、消化器病学、循環器病学、腎臓病学を取り上げる。将来、病院や診療所への就職を希望する学生にも受講を薦める。
	メディア社会特論	1・2	この授業では、現代の情報・メディア、ならびにソーシャルメディアについて、従来のメディアとの違いを明確にする形で学ぶと同時に、社会現象として、特に、ネットいじめ、ネット依存、個人情報の流出、著作権の侵害の4つのテーマを情報化の課題として取り上げる。
	情報セキュリティ特論	1・2	情報セキュリティがなぜ必要なのか、その必要性を理解し、その基礎から最近話題のソーシャルアタック、サイバー犯罪、さらに個人情報やプライバシーについて具体例をふまえて説明できるようになることを目指す。
	情報セキュリティ心理学	1・2	情報セキュリティの問題を技術的・システムの問題から捉えるのではなく、組織の中の人間行動という側面から捉え、組織の不正行動や社会的逸脱行為の一環として、情報セキュリティを理解する。
	大脳生理学	1・2	脳のどのような動きが心の基盤となる情報処理を可能にしているのかについての基本的事項について解説する。神経科学で用いられている様々な研究方法や研究史および、脳と神経系の生理学的構造の基礎を解説する。
	脳科学概論	1・2	脳の生理学の基礎や脳に関する古典的研究や近年の研究動向を学習することを通じて、こころの現象の生物学的側面を理解する。具体的な研究成果や心理学で取り上げられている素材を基に、脳とさまざまな心理的現象の接点に迫る。
	認知発達科学	1・2	発達の基礎的事項を理解し、認知・思考の発達の基礎的事項を理解する。ヒトの発達の理解特に、認知・思考の発達に焦点化する。
	認知心理学特論	1・2	本講義では、認知心理学および認知科学に関する学問体系を解説する。その上で、認知心理学や認知科学の研究手法やこれまでの知見の活用方法、特に日常生活における実践的な活用方法について重点的に学ぶ。認知心理学および認知科学の最新動向を踏まえて、日常生活における人間の行動原理を理解できるようになる。
	人格心理学特論	1・2	パーソナリティあるいは行動の理解・アセスメント、さらに心理療法をはじめとする心理援助的介入に関わる現象理解のあり方、考え方を学んでもらうことを目的としている。①行動理解のパラダイム、②心理学、精神病理学におけるシステム論パラダイム、③関係モデルと心理的援助の3つのサブテーマについて説明する。
	産業心理学特論	1・2	産業場面に関わる心理学の活用について実践的に解説する。特に心理学で得られた知見や手法が産業場面でどのように役立てられているかに重点を置く。
	生涯発達学特論	1・2	ライフ・サイクル論的な展望をもとに、乳児期から老年期にいたるまでのそれぞれの時期に特徴的な心理的課題と臨床的問題について検討する。認知発達については定型発達だけでなく、発達障害を中心とした近年の研究を取り上げる。
	教育心理学特論	1・2	発達の特質を生態学的観点から理解するとともに、学習過程に関して、オペラント行動や強化、学習の基礎理論、記憶過程の特質、学習の自己制御の幾つかの側面について説明する。
	発達障害特論	1・2	自閉症スペクトラム障害・注意欠陥多動性障害・学習障害などの各論について学び、医療／教育／福祉の各領域での実習経験を基にディスカッションを行う。
	社会心理学特論	1・2	社会心理学は、自己や態度といった個人の内的な過程、友人関係や恋愛関係といった対人関係、さらには会社組織などの集団、大衆という社会を幅広く研究の対象としている。本講義では、個人・対人関係・集団[組織・社会]というさまざまな単位を取り上げ、幅広く社会に生きる人間の置く同心理を考える。自分とは何か、相手に自分の気持ちをどのように伝えることができるか、集団のなかで自分をどのように表現できるか、流行とは何か、文化を理解するにはどのような方法があるかといったテーマを取り上げながら、最新の研究から人間の社会的行動を理解してゆく。
	心理統計法特論	1・2	統計手法の紹介と解説を講義し、統計解析ソフトウェア（SPSS）を使用したデータ解析を演習する。
神経心理学特論	1・2	健常な認知発達の諸相について解説し、その後、学習障害(LD)や注意欠陥／多動性障害(ADHD)などの障害児の行動特性について講義する。それらの障害に対する神経心理学的検査法やソフトサイン検査法を紹介する。	

人間科学専攻（修士課程） 健康科学コース／情報・認知科学コース

	授業科目名	配当年次	講義等の内容
演習・指導科目	応用栄養学演習	1・2	妊娠初期から高齢期までの各ライフステージでの発育・発達および健康維持・増進における食生活や食行動について理解し、調査や事例研究、実習を通して、対象に適正に実践してもらおう方法・スキルを学ぶ。また、個々の特性や生活の多様性に適応した食事づくりを試みることで、おいしさと健康について考察する。
	公衆栄養学演習	1・2	食べ物と健康の関係は大変密着しているが、科学的な根拠が必ずしも十分とはいえない問題も多い。健康にとって至適な血中コレステロール値一つとっても変遷し議論が続いている。食塩と高血圧の問題、肥満解消にエネルギー制限か糖質制限かなど未解決の課題が多い。論文、データを読みとく力をつける。
	食品保健・食品科学演習	1・2	生活習慣病やメタボリックシンドロームひいては動脈硬化の予防・改善に資する天然物・食品・栄養ならびにそれら成分の食品機能性を探求する。研究を進めるにあたって、脂質代謝や糖質代謝の知識を深め、各種分析機器の操作法・解析技術を習得できるように指導する。さらに動物実験等を通して研究成果をヒトに適用可能かを検討する。最終的には、生活習慣病やメタボリックシンドローム予防・改善を視野に入れた新規食品素材およびそれらの安全性を確立できる総合的知識・技術を養う。
	臨床栄養学演習	1・2	NSTを中心とする臨床栄養管理は低栄養や高度侵襲下における患者の治療効果の向上に多大な貢献をしている。このNSTで活動できる臨床管理栄養士を育成することを目指し演習を進める。
	認知科学演習	1・2	本講義では、認知科学領域に関する学問体系を解説する。その上で、認知科学の研究手法やこれまでの知見の活用方法、特に日常生活における実践的な活用方法と研究手法について重点的に学ぶ。認知科学領域の最新動向を踏まえて、日常生活における人間の行動原理を実践的に理解できるようになる。
	発達科学実践演習	1・2	発達科学分野の最新の知見と研究について理解し、自らの研究テーマなど、研究計画を検討する。
	研究指導	1・2	課程修了要件である修士論文作成のための研究指導を2年間にわたり一貫して行う。本科目において1年次より専門領域別に割り当てられた指導教員がテーマの立て方、その研究方法および内容について、各学生の到達段階に応じた助言・指導を行う。
	栄養に係る教育に関する科目	学校栄養教育特論	1・2
学校栄養食手指導論		1・2	栄養・食手指導を行うために必要な理論や考え方として、子供の捉え方と対応及び行動科学の理論について概説する。そして、集団及び個別における栄養指導を行う方法と評価について、集団指導では、学校の教育課程における各指導場面を取り上げ、その後、個別指導のあり方等について講述する。
学校栄養食手指導演習		1・2	児童・生徒に対する栄養・食手指導を実施する能力を養成するために、教員との効果的なティームティーチングに関する演習や食物アレルギーなど学校現場におけるさまざまな栄養相談や個別指導を想定した演習を行う。方法については、実践事例研究を行い、指導内容や方法等についての考え方や課題を把握した後、受講生が様々な場面の栄養・食手指導を計画し、ロールプレー等による模擬体験、受講生間の相互評価を行うことを通して、よりよい指導法を学ぶ。



# 帝塚山学院大学

アドミッションセンター

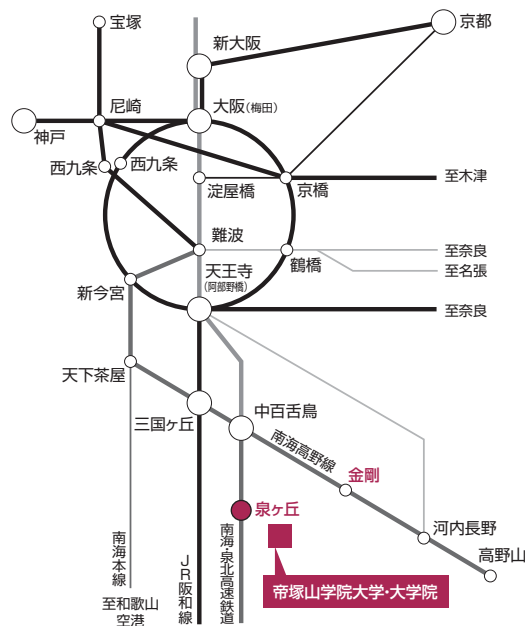
〒590-0113 大阪府堺市南区晴美台4-2-2

TEL.072-290-0652 FAX.072-296-4141

<https://www.tezuka-gu.ac.jp>

[soumu-ny@tezukayama.ac.jp](mailto:soumu-ny@tezukayama.ac.jp)

## Access Map



- 泉ヶ丘駅および金剛駅(東口ターミナル)より大学直通バス
- 泉ヶ丘駅④・⑥番のりば(217・222系統)で約8分  
「はるみ小学校前(帝塚山学院大学前)」下車すぐ
- 金剛駅(西口ターミナル)より⑤番のりば(泉ヶ丘駅行)  
南海バスで「はるみ小学校前(帝塚山学院大学前)」下車
- 金剛駅(西口ターミナル)より④番のりば(泉ヶ丘駅行)  
南海バスで「桃山学院教育大学前」下車、約700m